

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	エントランスリバティ池田教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・様々な資格保持者や、経験者が支援に当たっていることにより、多角的な支援が可能となっている	・保育士や児童指導員を中心に身体づくりのためのプログラム提供を行っている ・作業療法士が在籍しており、感覚統合や手先の運動など専門的知見に基づいた生活動作訓練が出来る ・元教員が、学習支援をきめ細やかにしている	・個々のスキルアップが目指せる研修への参加や、積極的に新しいことに挑戦する職員を支える仕組みづくりを行うことで、事業所としての支援の厚みを増すことにつなげる
2	・運動に適した部屋と個別活動も行える部屋がある	・集団活動や運動療育は、運動に適した活動室で行っており、個別対応が必要になった場合(クールダウン、聞き取り等)する際は、個別活動の部屋を使用するなど、使い分けをしている。また、PC利用のニーズがあるご利用者様は個別で活動を行う時間を作ることもある。	・ニーズに応じて個別対応が必要な療育を、個別の部屋で行っていただけるよう、利用者様のニーズを整理し、支援の深化につなげていく
3	・未就学児から小・中・高と一貫した方向性で年齢の幅が広く支援を行うことができる	・年齢の幅が広い分、児発・小・中・高など、ある程度カテゴリーに分けて、パーテーションを利用し、活動内容をそれぞれのカテゴリーに合った形で支援を行っている ・異年齢間での交流を通して、社会性を育てる環境づくりをおこなっている	・個々の特性や、配慮事項を確認し、職員間での共通認識をもち、カテゴリーの細分化等を年齢だけにとらわれず行っていくことで、支援内容のの向上につなげていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流会や兄弟向けのイベント、その他地域で他のこどもと活動する等の機会が提供できていない	・地域や保護者様のニーズの把握が詳細には出来ていない ・保護者会や兄弟児向けのイベント実施の経験値が少ないため、実施に結びつけることができていない	・地域や保護者様のニーズに合ったイベントを計画し、情報共有し計画していく ・法人内で定期的に開催している事業所の智恵を借り、実施につなげる
2	・平日、屋外での活動が、行えていない	・送迎の時間帯にばらつきがあるため、まとまって行動できない	・利用者様の送迎時間を把握し、前もって計画して、今後、公園遊びを運動療育の一環として平日に行うことを検討する
3	・集団活動が主なので、集団活動が苦手な子は過ごしにくい	・個別対応するには、部屋を分ける必要がある。部屋を分けたとしても、送迎中は添乗していることもあり職員数が一時的に減少するため、突発的な個別での対応が難しい	・集団活動がメインの施設だが、利用者のニーズや特性により、場合によっては個別の対応が必要な場面が増えてきている。計画段階で打ち合わせを丁寧に行い、弾力的に個別対応ができるよう、体制作りを進めていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 エントランスリパティ池田教室

公表日 2026年 4月 11日

利用児童数 2026/2/28 6名

回収数 4名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	2				・限られたスペースの中で、工夫して支援していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2	2				・適正な配置をし、支援を行っています。また、場合によっては、加配職員を配置し、より手厚い支援を行っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	1		1		・引き続き、バリアフリー化や、構造化された空間づくりに努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2	1	1			・引き続き、活動に合わせた空間づくりに努めてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	1	1			・今後も適切な支援を続けられるよう、職員間で連携を密にしていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3	1				・公表している内容に合わせていく必要がある。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					・より、子どもと保護者のニーズや課題を分析し作成していく必要がある。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	1				・今後もより、子どもを中心とし、保護者と相談しながら丁寧に取り組んでいきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					・今後もより、子どもを中心とし、保護者と相談しながら丁寧に取り組んでいきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4					・今後も適切な支援を続けられるよう、職員間で連携を密にしていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1				・今後、他教室との交流機会だけでなく、地域の行事等に参加し、交流の機会を検討してまいります。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3		1			・引き続き、丁寧に説明してまいります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					・引き続き、丁寧に説明して参ります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2		1	1		・今後、ニーズを踏まえて親子参加プログラムの実施を企画、検討してまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3	1				・引き続き、子どもを中心とし、保護者と相談しながら丁寧に取り組んでまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	1				・引き続き、子どもを中心とし、保護者と相談しながら丁寧に取り組んでまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3	1				・引き続き、子どもを中心とし、保護者と相談しながら丁寧に取り組んでまいります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	1	1		・今後、ニーズを踏まえて親子参加プログラムの実施を企画、検討してまいります。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3		1			・コミュニケーションを取りやすい環境整備を引き続き行ってまいります。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3		1			・引き続き、日々の活動において、きめ細やかに情報伝達をしてまいります。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2	1	1			・引き続き、日々の活動において、きめ細やかに情報伝達をしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					・今後も慎重に取り扱っていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1				・訓練等の実施に関して、周知していきま
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	1		1		・訓練等の実施に関して、周知していきま
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	1	1			・訓練等の実施に関して、周知していきま
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3			1		・速やかに連絡できるよう、普段から職員間で報連相を行うと共に、フローチャートに基づいた連絡体系を確認して取り組んでいます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4					・通所することに期待を寄せていただけるよう、今後にご利用者に寄り添った支援内容を提供していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	3	1				・通所することに期待を寄せていただけるよう、今後にご利用者に寄り添った支援内容を提供していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	2	1	1			・通所することに期待を寄せていただけるよう、今後にご利用者に寄り添った支援内容を提供していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		エントランスリバティ池田教室		公表日		2026年 4月 11日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	利用者が多く、かつ年齢層が高い方が占めていると、教室が手狭に感じる時がある。臨機応変にパーティションで区切っている。	児発のみの場合は十分なスペースだが、小学校高学年以上の児童とも過ごすことがあるため、改善が必要。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	・活動や人数に応じて、環境設定や職員の配置を調整し、適切な人員配置を行っている。	利用者が多い時、加配が必要な利用者が重なる時は人手が足りないと感じることがあるが、職員のスキルアップも同時に必要である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	視覚支援を行いわかりやすく構造化している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・衛生面・掃除を徹底している。		
	0	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			必要に応じて、個別の部屋や場所は認められているが、もう少し物の整理や処分すると更に使用しやすくなる。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	2	・毎日振り返りの時間がある		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	特に面談時には時間をかけて密に行っている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・朝礼や振り返りで意見交流を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	・法人内部に監査室があり、定期的に業務改善につながるチェックを受けている。	現時点で、第三者評価は行っていない。今後もより一層、業務改善につなげていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・新入社員研修を実施している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	・ホームページに掲載している。 ・活動内容を保護者にお伝えしている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・保護者に伺ったことを踏まえて作成している。	・客観的に分析できているが、より、綿密に作成していくことで、支援の質の向上を目指すしたい。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・カンファレンスをしている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	・意見交流する場がある。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	・都度、確認しながら行っている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	2	・ガイドラインを元に作成している。	移行支援の部分に関してはまだ十二分にできていないと感じることがある	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・朝礼時に実施。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・マンネリ化を防ぐために話し合いを行っている ・週ごとに活動内容を変更している		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・個別活動と集団活動を計画を作成し、支援が行われているので今後も継続していく。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・チームで連携して行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・終礼の際に振り返りを必ず実施している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・終礼の際に振り返りの際に必ず実施している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	適切な見直しを行えるよう職員間でモニタリング内容を共有している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2	・出来るだけ一番理解している者が参加している。他の者が行く場合は情報共有を徹底している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		より一層関係機関と連携して支援を行う体制作りが必要だと感じる。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	・情報共有と相互理解に努めている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	・適宜、情報共有に努めている。	より一層関係機関と連携して支援を行う体制作りが必要だと感じる。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			回答不要	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			回答不要	
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			回答不要	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	5	・地域の会議等には参加している。その機会を通して、支援力向上にもつなげている。 ・社内の研修制度が充実している。	・今後地域の児童発達支援センターとの連携を図り助言や研修を受ける機会も持つことで、地域との連携につながると考える。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		現在はあまり交流がないので、今後検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	送迎時や面談の際に共通理解を行っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	・ペアトレの機会を設けた。 ⇒ 共通認識につながっていないので、今後、報連相を密にしている。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	・情報は都度共有している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		サービス内容をもう少し詳しく説明したり、ご家族の意向を丁寧に聞き取ることで、より一層充実したサービスにつなげられる。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	・保護者との面談を適宜、行っており、本人や保護者の願いを尊重した計画を立てている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・保護者との面談を適宜、行っている。子育ての悩み等に対する相談を適切に行っている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	・ペアトレや、親子活動の企画はこれまで数度行ってきたが、参加者が増えにくい状況にある。	・今後、保護者会等の開催を通して、交流を図っていく必要がある。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	2	・ご意見を頂いた際には、丁寧に聞き取りを行った上で、対応できている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	1	5	・行事予定や、イベント、連絡体制に変更等があった際には、適宜、保護者に一斉配信や、文書で発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・鍵をかけて厳重に保管している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1	・視覚支援や絵カードを活用している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	・ハロウィンイベントなどで、地域との交流を行い、事業所の認知につなげている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・策定し、ファイルにて保管している ・定期的に会議を行い、情報のアップデートを行っている。 ・避難訓練を定期的実施している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	・策定し、ファイルにて保管している ・定期的に会議を行い、情報のアップデートを行っている。 ・避難訓練を定期的実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・契約時等、適宜行っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・契約時に保護者より丁寧に聞き取りを行っている。 ・情報が更新された際には、職員間で情報共有を徹底し	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・都度、点検や確認を行いながら進めている ・定期的に研修や訓練を行っている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・契約時に非常災害時の対応等、詳細に伝えている。 ・日ごろから情報共有を行い、安全管理について周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・実施している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・定期的に研修を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	児童発達支援計画に記載している。		